

## むぎの穂保育園×商大生=イクメン?

東大阪市社会福祉協議会では、夏休みの期間中に「ボランティア体験プログラム」を実施しています。このプログラムは市内にある福祉施設にボランティアとして参加し、施設職員の方や利用者の方と出会うことで新しい自分を発見することが目的です。市民活動活性化のためのプログラムの一つでもあります。

今回、第1班は、むぎの穂保育園でのボランティア体験を行いました。むぎの穂保育園では、保育園の事業だけでなく、「わんぱく教室」や「にこにこクラブ」、「ほしのこクラブ」など、子育て支援に関わる事業も行っています。商大生は「イクメン」目指して、園児のお世話をさせていただきました。



### 参加した学生の声

子どもたちの元気の良さに圧倒されました。普段のコミュニティ活動では高齢者の方と接する機会が多いのですが、今回は園児で、コミュニケーションをどのようにとればよいのか最初は戸惑いました。園の保育士の方にアドバイスをいただいて、段々と楽しく接できるようになりました。園長先生からは、女性の就業と保育園の役割に関するお話、市内の待機児童や児童虐待問題のお話、子育て支援事業のお話を聞かせていただき、とても勉強になりました。むぎの穂保育園の皆さん、どうもありがとうございました。

【堂下、安井、織田】